

平成 23 年 9 月 16 日

化学工学会エネルギー一部会 平成 23 年度第 1 回臨時総会議事録(案)

日 時: 平成 23 年 9 月 15 日(水) 12:00-13:00

場 所: 名古屋工業大学学会会場(V会場)

出席者(順不同、敬称略): 宮地健、中川紳好、隈部和弘、古山通久、亀山秀雄、鷹觜利公、汲田幹夫、則永行庸、窪田光宏、小倉裕直、瀬戸弘、中川浩行、西村顕、長谷川功、鈴木洋、中垣隆雄、藤岡恵子、堤敦司、松村幸彦、澤浩明、田島康司、植木保昭、成瀬一郎

1. 報告事項

- (1) 前回議事録(平成 23 年 3 月 24 日:メール審議) : 資料 23-9 臨総 1
平成 23 年 3 月 24 日メール審議にて承認済み。
- (2) 平成 23 年度部会 CT・部会長合同会議報告 : 回覧
成瀬部会長より報告があった。
- (3) 部会執行部および幹事 : 資料 23-9 臨総 2
平成 23 年 3 月 24 日メール審議にて承認済み。
- (4) 平成 23 年度秋季大会エネルギー部会企画シンポジウムについて
 - i) S-4 アンモニアを用いた CO₂フリーエネルギーキャリアシステムの将来展望
オーガナイザー: 都留稔了(広島大)・中島田豊(広島大)・亀山秀雄(東京農工大)・上宮成之(岐阜大)
 - ii) S-34 環境汚染物質としての微量成分の評価と放出制御
オーガナイザー: 義家亮(名古屋大)・神柱大助(出光興産)・野田直希(電力中央研)・倉本浩司(産総研)
 - iii) S-35 エネルギーシンポジウム
オーガナイザー: 窪田光宏(名古屋大)・小林潤(工学院大)・神原信志(岐阜大)・小林敬幸(名古屋大)
 - iv) S-36 次世代エネルギーデバイスおよびその関連技術の展開ー材料・プロセス・システムー
オーガナイザー: 菊地隆司(東京大)・竹中壮(九州大)・津久井茂樹(大阪府大)・田巻孝敬(東京工大)・阪本浩規(大阪ガス)・大友順一郎(東京大)
 - v) S-37 バイオ技術によるグリーンイノベーション
オーガナイザー: 松村幸彦(広島大)・常田聡(早稲田大)・池田幸(宇都宮大)
- (5) 平成 23 年度予算について : 資料 23-9 臨総 3
平成 23 年 3 月 24 日メール審議にて承認済み。
- (6) 共催・協賛等について
 - ・第 10 回広島大学・産総研バイオマスオープンセミナー(バイオマス分科会、平成 23 年 6 月 24 日、産業技術総合研究所中国センター)
 - ・バイオエナジー国際会議(バイオマス分科会、平成 23 年 6 月 29~30 日、ベルギー)
 - ・第 11 回広島大学・産総研バイオマスオープンセミナー(バイオマス分科会、平成 23 年 7 月 22 日、産業技術総合研究所中国センター)

- ・日中石炭・C1化学シンポジウム(学術振興会第148委員会、平成23年8月3～7日、中国・銀川)
- ・産総研バイオマスフォーラム2011(バイオマス分科会、平成23年8月22日、産業技術総合研究所中国センター)
- ・バイオエナジー国際会議(バイオマス分科会、平成23年9月5～9日、フィンランド)
- ・第10回プロセスデザイン学生コンテスト(SIS部会情報技術教育分科会、平成23年9月16日、名古屋工業大学(化学工学会第43回秋季大会会場))
- ・第12回広島大学・産総研バイオマスオープンセミナー(バイオマス分科会、平成23年9月21日、産業技術総合研究所中国センター)
- ・化学工学会エネルギー部会熱利用分科会第22回研究会(熱利用分科会、平成23年9月27日、京都)
- ・アルコール燃料国際シンポジウム(バイオマス分科会、平成23年10月10～14日、イタリア)
- ・蓄熱系国際ワークショップ:IEA/ECES Annex 25(熱利用分科会、平成23年10月13～14日、大阪)
- ・熱工学コンファレンス2011(日本機械学会熱工学部門、平成23年10月29～30日、浜松)
- ・第17回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム(粒子・流体プロセス部会流動層分科会、平成23年11月21～22日、名古屋大学)
- ・バイオテクノロジー国際会議(バイオマス分科会、平成24年2月14～15日、ドバイ)
- ・第6回高温ガス炉技術国際会議HTR2012(平成24年10月28日～11月1日、日本科学未来館(東京都江東区))
- ・第6回稲盛フロンティア研究講演会(九州大学稲盛フロンティア研究センター)

メーリングリストによる部会会員へのメール配信の際は共催・協賛等を明確にしてほしいとのこと。招待講演者等への旅費等の支出については部会執行部により判断。大学等の教員公募の案内などの配信も可能。

(7) 各分科会平成23年度活動報告・計画

- i) 炭素系資源利用分科会 : 資料 23-9 臨総 4
- ii) 熱利用分科会 : 資料 23-9 臨総 5
平成23年9月27日(火)開催の熱利用分科会第22回研究会「京都大学原子炉実験所見
学と原子炉の安全管理と医療利用、電力需給に関する講演」への参加依頼があった。
- iii) バイオマス分科会 : 資料 23-9 臨総 6
- iv) 燃料電池・電池分科会 : 資料 23-9 臨総 7
- v) 新エネルギー・エネルギーシステム分科会 : 資料 23-9 臨総 8
- vi) 微量成分分科会 : 資料 23-9 臨総 9

(8) 賛助会員の特典について : 資料 23-9 臨総 10

成瀬部会長より報告があった。平成23年度第1回幹事会で承認済み。

(9) インケム東京について : 資料 23-9 臨総 11

成瀬部会長より報告があった。

(10) その他

・部会 CT 賞受賞

エネルギー部会	東京工業大学	劉醇一氏
バイオ部会	金沢大学	滝口昇氏
分離プロセス部会	山形大学	松田圭悟氏

2. 審議事項

(1) 部会規約の修正について

: 資料 23-9 臨総 12

修正点について成瀬部会長より説明があった。第4条の賛助会員等に関する規約については、今後、検討することとなった。その他の修正については審議の結果承認された。

(2) 部会シンポジウム要旨集の発刊について

化学工学論文集における特集号の開設、あるいは、秋季大会シンポジウムに学生発表賞あるいは優秀ポスター賞等を設けるという意見があり、再度検討することとした。

3. 連絡事項

(1) 次回・総会について

総会:平成 24 年3月 16 日(金):年会第2日の昼を予定

(2) その他

: 資料 23-9 臨総 13

神戸大学・鈴木先生より「相変化物質およびスラリーに関する国際会議」の案内があった。

平成23年3月28日

化学工学会エネルギー一部会 平成22年度総会(メール審議)議事録

化学工学会第76年会の中止に伴い、平成22年度総会をメール審議として行った。以下に議事録を記す。

メール審議期間:平成23年3月24日～3月28日正午

メール審議方法:議事資料をメールの添付ファイルとしてエネルギー一部会メーリングリストを通じて会員にメールで配信し、議決事項の諾否、意見等をエネルギー一部会事務局にて集約することによって、審議を行った。

議事録:

1. 平成23年度化学工学会エネルギー一部会幹事案(各分科会副代表以上)について、賛成多数をもって承認された。
2. 平成23年度化学工学会エネルギー一部会予算案について、賛成多数をもって承認された。
3. 議事資料の配布方法に関する提案については、次期幹事会への申し送り事項とし、今後検討を行うこととした。

以上

文責 劉 醇一(東工大, エネルギー一部会庶務幹事)

化学工学会エネルギー一部会 H23-24役員・幹事名簿

役職	氏名	所属
部会長	成瀬 一郎	名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻
副部会長	伊原 学	東京工業大学大学院理工学研究科化学専攻
副部会長	二宮 善彦	中部大学工学部応用化学科
副部会長	須田 俊之	(株)IHI基盤技術研究所熱・流体研究部
庶務幹事(経理併任、事務局、HP担当)	植木 保昭	名古屋大学エコトピア科学研究所
会計監事	小林 信介	名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻
顧問幹事	三浦 孝一	京都大学大学院工学研究科化学工学専攻
顧問幹事	亀山 秀雄	東京農工大学工学府産業技術専攻
顧問幹事	堤 敦司	東京大学生産技術研究所機械・生体系部門
顧問幹事	林 潤一郎	九州大学先端物質化学研究所先端素子材料部門
顧問幹事	加藤 之貴	東京工業大学原子炉工学研究所
炭素系資源利用分科会代表	神原 信志	岐阜大学大学院環境エネルギーシステム専攻
炭素系資源利用分科会副代表	野崎 智洋	東京工業大学大学院理工学研究科
幹事 炭素系資源利用分科会	松方 正彦	早稲田大学先進理工学研究科応用化学専攻
幹事 炭素系資源利用分科会	清水 忠明	新潟大学工学部化学システム工学科
幹事 炭素系資源利用分科会	則永 行庸	九州大学先端物質化学研究所先端素子材料部門
幹事 炭素系資源利用分科会	守富 寛	岐阜大学大学院工学研究科環境エネルギーシステム専攻
幹事 炭素系資源利用分科会	奥村 幸彦	舞鶴工業高等専門学校電子制御工学科
幹事 炭素系資源利用分科会	園山 希	出光興産(株)販売部石炭事業室石炭・環境研究所
幹事 炭素系資源利用分科会	宮地 健	三井造船(株)千葉技術開発センター
幹事 炭素系資源利用分科会	高本 成仁	パプコック日立(株)呉研究所
幹事 炭素系資源利用分科会	橋本 望	(財)電力中央研究所エネルギー技術研究所高効率発電領域
幹事 炭素系資源利用分科会	高橋 修一	電源開発(株)技術開発センター
熱利用分科会代表	汲田 幹夫	金沢大学理工研究域自然システム学系
熱利用分科会副代表	窪田光宏	名古屋大学工学研究科エネルギー理工学専攻
幹事 熱利用分科会	劉 醇一	東京工業大学原子炉工学研究所
幹事 熱利用分科会	小倉 裕直	千葉大学大学院工学研究科 建築・都市科学専攻
幹事 熱利用分科会	田中 耕太郎	芝浦工業大学
幹事 熱利用分科会	日高 秀人	(株)三菱化学科学技術研究センター生産技術研究所プロセス工学
幹事 熱利用分科会	藤岡恵子	(株)ファンクショナル・フルイッド
新エネルギー・エネルギーシステム分科会代表	中垣 隆雄	早稲田大学創造理工学部総合機械工学科
新エネルギー・エネルギーシステム分科会副代表	小林 敬幸	名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻
バイオマス分科会代表	松村 幸彦	広島大学大学院工学研究科機械システム工学専攻
バイオマス分科会副代表	林 順一	関西大学環境都市工学部エネルギー・環境工学科
バイオマス分科会副代表	美濃輪 智朗	産業技術総合研究所
幹事 バイオマス分科会	中川 浩行	京都大学環境科学センター
幹事 バイオマス分科会	野田 玲治	群馬大学大学院工学研究科環境プロセス工学専攻
幹事 バイオマス分科会	長谷川 功	京都大学大学院工学研究科化学工学専攻
幹事 バイオマス分科会	種田 大介	日揮(株)技術研究所
燃料電池・電池分科会代表	伊原 学	東京工業大学大学院理工学研究科化学専攻
燃料電池・電池分科会副代表	大友 順一郎	東京大学大学院新領域創成科学研究科環境システム学専攻
幹事 燃料電池・電池分科会	古山 通久	九州大学稲盛フロンティア研究センター
幹事 燃料電池・電池分科会	菊地 隆司	東京大学大学院工学研究科化学システム工学専攻
幹事 燃料電池・電池分科会	中川 紳好	群馬大学工学部生物化学工学科
微量成分分科会代表	義家 亮	名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻
微量成分分科会副代表	倉本 浩司	産業技術総合研究所エネルギー技術研究部門
微量成分分科会副代表	野田 直希	(財)電力中央研究所エネルギー技術研究所
幹事 微量成分分科会	山口 哲正	(財)電力中央研究所エネルギー技術研究所燃料高度利用領域
エネルギー一部会事務局	金山 史恵	名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻

平成23年度 部会 収支予算書				
(平成23年3月1日から平成24年2月28日まで)				
				エネルギー部会
				部会長 印
(単位:円)				
科目・内訳	H23年度予算	H22年度予算	差異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	862,000	1,012,000	-150,000	
部会個人会員会費			0	本部へ入金
部会法人会員会費	650,000		650,000	
部会学生会員会費		0	0	免除
個人賛助会員	12,000	12,000		化学工学会非会員
法人賛助会員	200,000	1,000,000	-800,000	化学工学会非会員
② 事業収入	100,000	90,000	10,000	
講演会収入	50,000	30,000	20,000	
シンポジウム収入	50,000	60,000	-10,000	
③ 分科会収入	300,000	300,000	0	
炭素系資源利用分科会収入	50,000	50,000	0	
燃料電池・電池分科会収入	50,000	50,000	0	
熱エネルギー利用分科会収入	50,000	50,000	0	
新エネルギー・エネルギーシステム分科会収入	50,000	50,000	0	
ハイオマスエネルギー分科会収入	50,000	50,000	0	
微量成分分科会収入	50,000	50,000	0	
④ 雑収入			0	
⑤ 利息収入	3,000	3,000	0	
⑥ 他会計からの繰入金	550,000	550,000	0	
化学工学会本部から繰入(含共催)	550,000	550,000	0	
秋季大会還付金収入			0	
			0	
事業活動収入計	1,815,000	1,955,000	-140,000	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	700,000	2,468,000	-1,768,000	
講演会経費	100,000	200,000	-100,000	
講習会経費	50,000	50,000	0	
シンポジウム経費	200,000	500,000	-300,000	
セミナー経費	150,000	218,000	-68,000	
出版費	200,000	1,500,000	-1,300,000	
外部団体への助成金、負担金		0	0	
② 分科会事業費	900,000	1,200,000	-300,000	
炭素系資源利用分科会事業費	150,000	200,000	-50,000	
燃料電池・電池分科会事業費	150,000	200,000	-50,000	
熱エネルギー利用分科会事業費	150,000	200,000	-50,000	
新エネルギー・エネルギーシステム分科会事業費	150,000	200,000	-50,000	
ハイオマスエネルギー分科会事業費	150,000	200,000	-50,000	
微量成分分科会事業費	150,000	200,000	-50,000	
③ 管理費支出	580,000	700,000	-120,000	
IT化費	120,000	120,000	0	
会議費	100,000	150,000	-50,000	理事会、幹事会費用他
旅費交通費	100,000	150,000	-50,000	
通信運搬費	30,000	50,000	-20,000	
消耗品費	10,000	10,000	0	
図書費			0	
雑費	20,000	20,000	0	振込手数料他
人件費(アルバイト)	200,000	200,000	0	
④ 他会計への繰出金	0	0	0	
化学工学会本部への繰出(含共催)			0	
			0	
事業活動支出計	2,180,000	4,368,000	-2,188,000	
3. 事業活動収支差額	-365,000	-2,413,000	2,048,000	
II. 投資活動収支の部				
1. 特定資産取崩収入	0	0	0	
2. 特定資産取得支出	0	0	0	
3. 投資活動収支差額	0	0	0	
当期収支差	-365,000	-2,413,000	2,048,000	
前期繰越金			0	
次期繰越金	-365,000	-2,413,000	2,048,000	

			エネルギー部会
平成23年度予算 事業明細			
			(単位：円)
	部会	分科会	合計
	事業収入・ 事業費支出	分科会収入・ 分科会事業費	
収入計	1,515,000	300,000	1,815,000
支出			
運営費	500,000	900,000	1,400,000
旅費交通費（職員）	0		0
施設利用料	120,000		120,000
通信費	30,000		30,000
諸謝金	400,000		400,000
雑費	30,000		30,000
臨時雇賃金（アルバイト）	200,000		200,000
支出計	1,280,000	900,000	2,180,000
収支差	235,000	-600,000	-365,000

2011.09.14

化学工学会エネルギー一部会炭素資源利用分科会 平成 23 年度活動報告および活動計画

炭素系資源利用分科会

分科会活動計画(メール会議)2011 年 4 月 25 日

出席者:神原, 野崎, 奥村

協議事項

1)分科会ホームページ更新:遅ればせながら前清水先生のHPを離れ,今年度末ぐらいまでに更新する。(神原),制作は外注。分科会予算を使わせていただく。

2)分科会開催:札幌支部大会(学生中心),化工秋季大会シンポジウム,石炭科学会議, Pittsburg Coal Conference, ICCS&T で分科会メンバーの発表・参加を積極的にうながす。

3)見学会実施:東京ガス 11 月, エネルギー学会燃焼部会と共催

4)燃焼の基礎講習会:エネルギー学会燃焼部会と共催

5)Inchem Tokyo:神原が発表

6)化工年会:何らかの企画を

化学工学会エネルギー一部会熱利用分科会 平成 23 年度活動報告および活動計画

1. 平成 23 年度活動報告

- ・今年度の分科会の活動方針ならびに第 22 回研究会の実施内容に関するメール審議
- ・熱利用分科会 H23 年度幹事
代表：汲田幹夫（金沢大），副代表：窪田光宏（名大），幹事：藤岡恵子（ファンクショナル・フルイッド），田中耕太郎（芝浦工大），劉醇一（東工大）

2. 平成 23 年度活動計画

(1) 第 43 回秋季大会 シンポジウム「エネルギーシンポジウム」

（炭素系資源利用分科会，新エネルギー・エネルギーシステム分科会との共催）

開催日：平成 23 年 9 月 14 日（水），16 日（金）

講演数：展望講演 2 件，一般講演 27 件

- ・環境共生居住システムを目指して（名大）奥宮 正哉 氏
- ・船舶を利用した防災スマートグリッド（東京海洋大）刑部 真弘 氏

(2) 熱利用分科会 第 22 回研究会

「京都大学原子炉実験所見学と，原子炉の安全管理と医療利用，電力需給に関する講演」
（日本伝熱学会関西支部・伝熱技術フォーラムとの共催）

開催日：平成 23 年 9 月 27 日（火） [参加申込締切 9/21(水)]

場 所：京都大学原子炉実験所（大阪府泉南郡熊取町朝代西 2 丁目）

見学会：原子炉のチェレンコフ光と炉室内の医療照射設備等

講演会：3 件

- ・原子炉運用・研究の現場から（演題未定）（京大原子炉実験所）齋藤 泰司 氏
- ・中性子線の医療利用（京大原子炉実験所）田中 浩基 氏
- ・原発減少社会の電力需給を考える（仮題）（九大）古山 通久 氏

講演会：原子炉実験所の齋藤泰司先生に研究炉運用の経験に基づいた原子炉の安全管理をめぐると考察を，田中浩基先生に中性子線を用いた医療照射について，九州大学の古山通久先生に実装可能な技術から考えるポスト震災の電力供給と持続可能なエネルギー利用社会の展望をご講演いただく

(3) 熱利用分科会 第 23 回研究会

開催日：未定（平成 23 年 11 月～平成 24 年 2 月の間に開催予定）

場 所：未定（関東地区，東海地区等）

内 容：熱利用施設の見学・講演，（エネルギー材料に関する討論・勉強会）

以 上

2011.09.14

**化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会
平成 23 年度活動報告および活動計画**

別紙参照

2011.09.14

**化学工学会エネルギー一部会燃料電池・電池分科会
平成23年度活動報告および活動計画**

別紙参照

2011.09.14

**化学工学会エネルギー部会
新エネルギー・エネルギーシステム分科会
平成23年度活動報告および活動計画**

・分科会の体制変更

本年度より、

分科会長 中垣 隆雄(早稲田大学)

副会長 小林 敬幸(名古屋大学)

で運営

・活動内容と計画

本研究分科会では、エネルギーシステムに係わり、化学工学の得意とする「律速するプロセスや構成要素の限界容量などの定量的なデータ収集を踏まえた、システム全体としてエネルギーと物質の収支を俯瞰的に把握すること」をベースに研究会を運営していく。特に、電化の流れが 3.11 の東日本大震災を境に見直され始めたことを受け、災害時のリスク分散も強固にふくめたエネルギーの供給側、需要側それぞれのベストミックスとして新たな着地点を探す必要がある。

平成23年 9月 化学工学会 第43回秋季大会 エネルギーシンポジウム

展望講演で協力（謝金を分科会で負担）

9月16日(金) 11:20～12:00 W会場

東京海洋大学 刑部真弘教授 「船舶を利用した防災スマートグリッド」

平成24年 1月ごろ 研究会(講演会)予定

※ 熱利用分科会を中心に関係分科会のご協力を仰ぎたい

以上

微量成分分科会 平成23年度活動報告・予定

1. 平成23年度の活動計画

1) 化学工学会第43回秋季大会シンポジウムを企画

日時: 9月14日(水)13:00-15:20
タイトル: 環境汚染物質としての微量成分の評価と放出制御
オーガナイザー: 名大義家, 出光神柱, 電中研野田, 産総研倉本
場所: XB会場
展望講演: 1件 国環研 貴田氏

2) 第10回横浜微量成分WSを開催予定

場所: 中国
日程: 平成24年1月以降

文責 微量成分分科会代表 名古屋大学大学院工学研究科 義家 亮

平成 23 年度退会:東京電力(株)、川崎重工業(株)

・賛助会員への特典について

(従来) 登録されている賛助会員(1社5名まで)はエネルギー部会が主催する講演会、講習会等の事業活動への参加費が割引

(変更) ・会費の割引率:原則2割程度(ホームページに明記)

・エネルギー部会が主催する講演会、講習会等の事業活動の情報(講演のパワーポイントファイルや要旨集等)を電子媒体等で各年度末に送付。ただし、部会あるいは分科会が主催する行事に限る。共同主催の場合は分科会代表の判断に委ねる。また、講演者等にとって支障がある情報は提供しない。

表2 インケム東京 産学官マッチングフォーラム プログラム (案)

オーガナイザー: 成瀬 一郎

セッション名	資源・エネルギー
講演日	11月18日

基調講演 または 一般講演	講演時間帯	講演テーマ	発表代表者／所属機関名 E-mail
基調講演 (官)	10:30-10:50	新エネルギー政策の最近の動 向について	森本将／経済産業省資源エ ネルギー庁新エネルギー対策 課 morimoto-masashi@meti.go.jp
基調講演 (学)	10:50-11:10	エネルギー関連技術の将来像	松方正彦／早稲田大学 mmatsu@waseda.jp
一般講演①	11:10-11:20	多目的殺菌消毒用低価格省エ ネ型マイクロバブル内包オゾン 水製造装置の開発研究	亀山秀雄／東京農工大学 tatkame@cc.tuat.ac.jp
一般講演②	11:20-11:30	中温作動燃料電池におけるアル コール燃料の反応特性	大友順一郎／東京大学 otomo@k.u-tokyo.ac.jp
一般講演③	11:30-11:40	化学再生発電システムによる燃 費削減効果	中垣隆雄／早稲田大学 takao.nakagaki@waseda.jp
一般講演④	11:40-11:50	水素キャリア(アンモニア)からの 常温無触媒水素製造法の開発	神原信志／岐阜大学 kambara@gifu-u.ac.jp
一般講演⑤	11:50-12:00	多様な燃料を利用する固体酸 化物燃料電池の材料開発	伊原学／東京工業大学 mihara@chem.titech.ac.jp
基調講演 (学)	13:00-13:20	吸着式冷凍機用固体材料の開 発研究	汲田幹夫／金沢大学 kumita@t.kanazawa-u.ac.jp
一般講演⑥	13:20-13:30	熱交換器型デシカントユニットを 用いた調湿システムの高性能化	窪田光宏／名古屋大学 kubota@nuce.nagoya-u.ac.jp
一般講演⑦	13:30-13:40	太陽熱利用のための Na ₂ S 水和 物コンポジット蓄熱装置	田中耕太郎／芝浦工業大学 k-tanaka@sic.shibaura-it.ac.jp
一般講演⑧	13:40-13:50	未利用熱駆動ケミカルヒートポン プの実用化開発	小倉裕直／千葉大学 hiro_ogura@faculty.chiba-u.jp
一般講演⑨	13:50-14:00	膜分離・溶媒抽出による廃潤滑 油再生プロセス	義家亮／名古屋大学 ryoshiie@mech.nagoya-u.ac.jp
基調講演	14:00-14:20	中温蓄熱向けケミカルヒートポン	加藤之貴／東京工業大学

(学)		プの開発	yukitaka@nr.titech.ac.jp
一般講演⑩	14:20-14:30	湿潤バイオマスの炭化とその炭化物の利用	林順一／関西大学 hayashi7@kansai-u.ac.jp
一般講演⑪	14:30-14:40	石炭ガス化ガス利用型 SOFC 発電システムの開発	倉本浩司／産業技術総合研究所 koji-kuramoto@aist.go.jp
一般講演⑫	14:40-14:50	石炭の低温・迅速ガス化システムの開発	松岡浩一／産業技術総合研究所 koichi-matsuoka@aist.go.jp
一般講演⑬	14:50-15:00	二塔式ガス化炉を用いた褐炭・バイオマスのガス化	須田俊之／IHI toshiyuki_suda@ihi.co.jp
一般講演⑭	15:00-15:10	廃棄物による排ガス中水銀捕捉剤の開発	植木保昭／名古屋大学 ueki@mech.nagoya-u.ac.jp
一般講演⑮	15:10-15:20	穏和な溶剤処理による褐炭、泥炭、バイオマスの脱水・改質	蘆田隆一／京都大学 ashida@cheme.kyoto-u.ac.jp
一般講演⑯	15:20-15:30	伝熱管表面の灰付着低減のための表面改質技術	成瀬一郎／名古屋大学 naruse@mech.nagoya-u.ac.jp
一般講演⑰	15:30-15:40		
一般講演⑱	15:40-15:50		
一般講演⑲	15:50-16:00		

行の追加、行間変更は任意にしてください。

化学工学会「エネルギー部会」規約

2001.4.2 制定, 2002.3.27, 2002.12.20, 2004.4.3, 2011.9.15 改訂

(総則)

第1条 本会は~~(社)~~(公社)化学工学会の部会規定により設置され、「エネルギー部会」と称する(英文名; Division of Energy Engineering). 事務局は当部会の代表者の所属する機関とする。

(目的)

第2条 本会は化学工学会のエネルギーに係る専門分野の代表機関として、エネルギーの開発から蓄熱、熱輸送、エネルギー利用まで、エネルギーに関連する諸課題について、横断的に学術および技術の向上、交流を促進し、産官学間の基礎研究、基盤研究、応用研究開発の有機的な連携をはかることを目的とする。

(事業)

第3条 本会の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1) エネルギー開発、転換、蓄熱、熱輸送、効率的エネルギー利用等、エネルギーに関連する研究
- 2) 講演会、講習会、見学会の開催
- 3) 調査および資料、情報の収集・整備と交換
- 4) 国際会議、化学工学会シンポジウムの開催と支援
- 5) その他、本会の目的の達成に必要な事業

(構成)

第4条 本会は個人会員、賛助会員、学生会員、~~部会~~特別会員、名誉会員で構成される。

個人会員は化学工学会正会員のうち、部会に参加を希望した全員である。

賛助会員は化学工学会法人会員のうち、部会活動に参加を希望した全員であり、事業所・研究所別に賛助会員の登録ができる。

学生会員は化学工学会学生会員のうち、部会に参加を希望した全員である。

~~部会~~特別会員は、化学工学会正会員以外の個人会員、化学工学会法人会員以外の法人会員であり、化学工学会準会員として扱われる。

名誉会員は、本会の特に功労のあった会員で、~~総会~~幹事会での推薦、承認をもって決定される。

(入会および退会)

第5条 入会および退会は書面により提出し、幹事会で承認を得るものとする。会費の滞納が1年以上におよぶ会員は会員の資格を放棄したものとみなす。

(役割およびその任期)

第6条 本会に次の役員をおくことができる。

部会長1名、副部会長若干名、部会幹事若干名、庶務幹事1名、会計監事21名。また、分科会をおく場合は、分科会正代表1名、副代表者各1名ないし2名、分科会幹事若干名をおくことができる。役員任期は、原則として2年間とし、部会長を除き再任を妨げない。任期半ばで交代した場合の任期は前任者の後任期間とする。

部会長は退任後、~~総会~~幹事会の承認を得て顧問幹事となることができる。顧問幹事には任期は定めない。

(役員職務)

第7条 部会長は本会を代表し、会務を総括する。

副部会長は、部会長を補佐し、円滑な会務の遂行を行う。

幹事は、本会の運営および諸行事の企画立案およびその業務を執行し、職務、会計、企画を分担する。分科会正副代表者および分科会幹事は幹事も兼任する。

会計監事は部会の財政および業務を監査する。

分科会正副代表者は、各分科会を代表し分科会の会務を総括する。

分科会幹事は、分科会の運営および諸行事の企画立案およびその業務を執行する。

(役員を選出)

第8条 部会長の選出は部会会員の推薦をもとに幹事会で候補者を協議した上、総会にて選出する。

総会にて部会長選出後、部会担当理事を通じて化学工学会理事会が承認する。

副部会長、庶務幹事、会計監事、幹事、分科会正副代表者は部会長が任命し、総会幹事会にて承認する。

なお、部会長は幹事会の議を経て随時幹事を任命できる。新たに任命された幹事の承認は次の総会幹事会にて行う。

(役員を罷免)

第9条 本会にとって著しく不利益が生じるもしくは本会にふさわしくないと判断された場合は、会員からの申し出により、当該役員の処遇について監事を含めた幹事会で協議したのち、正当な根拠とともに総会に審議を諮る。

(分科会の設置)

第10条 本会の目的を達成するための分科会を設置することができる。

分科会の設置、期間延長および改廃と正副代表者は幹事会で協議の上、総会の承認により決定する。

分科会の設置期間は2年とするが、必要に応じて期間を延長することができる。

分科会幹事は分科会代表者が任命し、部会幹事会にて承認する。

(部会幹事会)

第11条 部会幹事会は、部会長、副部会長、庶務幹事、会計監事、幹事により構成し、必要に応じて部会長が召集する。

幹事会は次の事項を行う。

- 1) 会の設置および継続に関する事務
- 2) 会員の入退会
- 3) 化学工学会との連絡
- 4) 事業計画、予算および決算案の立案
- 5) 分科会正副代表者の選出および分科会幹事の承認
- 6) 次期部会長候補の選出
- 7) その他、本会の運営と事業の執行に必要な事項

(総会)

第12条 総会は年1回行い、部会長がこれを召集する。ただし、部会長は必要に応じて臨時総会を召集できるものとする。

総会では次の事項を行う。議決は出席者の過半数の賛成による。

- 1) 事業、会務報告とその承認
- 2) 事業計画、予算の承認
- 3) 役員の変更
- 4) 規約の改正および細則の制定と改正
- 5) その他、本会に必要な事項の決定

(部会事務局)

第13条 部会事務局は部会長の下で、部会の事務一般を掌握する。部会事務局員の任命は、~~部会~~幹事会の議を経て部会長が行う。

(会計)

第14条 経理は化学工学会との連結決算となる。本会の運営に必要な経費は、会費、寄付金、委託研究費および事業収入を以てこれにあてる。部会運営経費の10%を部会関連事業経費・管理費として化学工学会本部へ納める。受託研究の受け入れに伴う経費の扱いについては、事実が発生した時点で、幹事会にて協議、規定する。余剰金は、次年度へ繰り越しできる。

(会費)

第15条 個人会員の会費は化学工学会の定める規程に従う。賛助会員、~~部会~~特別会員は幹事会にて別途定める額の年会費を納める。名誉会員、学生会員は会費を納めなくても良い。

(細則)

第16条 本規約の実施に関して必要が生じた場合には細則を定めることができる。細則の制定と改正は総会の承認をもって成立する。

(規約の改正)

第17条 本規約は、総会の承認をもって改正することができる。

(付則)

第18条 本規約は2001年4月2日より施行する。

入会のご案内

Home > 入会のご案内

エネルギー部会入会のご案内

化学工学会の個人会員（正会員、学生会員）でエネルギー部会入会希望の方は、化学工学会本部に所定の用紙によって参加申し込みを行って下さい。

<http://www.scej.org/>

化学工学会の法人会員、化学工学会会員でない法人あるいは個人の方で、エネルギー部会の賛助会員、特別個人会員になることを希望される方は、エネルギー部会事務局（scej_admin@scej.sakura.ne.jp）宛にお申し込みください。

部会年会費

- 化学工学会の正会員： 1部会にのみ属する場合には無料。
2部会以上に属する場合には（入会部会数-1）×1,000円の部会年会費を化学工学会年会費と共に本部に納入。
- 化学工学会の学生会員： 無料
- 賛助会員： エネルギー部会活動の賛助を旨とする法人会員。賛助会員は部会の専門性に鑑み、化学工学会法人会員とは別に事業所・研究所単位で会員になることができます。但し、会員として登録することができる人数は1社5名までです。
登録されている賛助会員はエネルギー部会が主催する講演会、講習会等の事業活動への参加費が割引されます。
年会費 50,000円
- 特別会員（正会員）： エネルギー部会活動への参画を旨とする化学工学会会員ではない正会員
年会費 2,000円
- 特別会員（学生会員）： エネルギー部会活動への参画を旨とする化学工学会会員ではない学生会員。
年会費 無料